

スポ推よこすか

横須賀が好き!

61号



協議会 HP

令和5年9月26日 発行

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 林 但

令和4年度末総会及び令和5年度総会

5月12日(金)午後6時半よりヴェルクよこすか6階ホールにて開催されました。



まず、スポーツ推進委員感謝状贈呈式が開催されました。地域体育振興功労者2名、スポーツ推進委員46名(30年表彰2名、20年表彰11名、10年表彰33名)の方が受賞されました。地域体育振興功労者の船越学区の石渡さんより「運動が得意ではなかった私ですが、楽しく活動を続けることができました」と微笑ましい謝辞をいただきました。



次に令和4年度末総会・令和5年度新年度総会が開催されました。まず林会長より、コロナ感染症が5類に移行し、イベントが昨年度より活発に行われると思いますので、今年度もよろしくお願ひいたします、との言葉をいただきました。

総会に入り、各担当から令和4年度事業報告、決算報告、監査報告があり承認されました。続いて令和5年度の総会に入り、会長・副会長の選出について、細野選考委員会委員長から経過報告があり、提案内容が承認されました。



林会長、石川副会長及び池田副会長が再任され、野比学区の内村健さん、汐入学区の鈴木幸子さんが新任副会長として選出されました。



引き続き令和5年度の事業計画(案)、予算(案)について説明があり、賛成多数で承認されました。

滞りなく総会が終了した後、理事同士の意見交換の場として今年度から実施予定の地区別理事の顔合わせが行われました。

承認された事業計画、予算をもとに今年度の活動をスタートしていきますので、今年も宜しくお願ひいたします。

記事 本田 仁(津久井)

写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)



6月9日(金)～10日(金)群馬県前橋市のALSOKぐんま総合スポーツセンターにて関東各都県スポーツ推進委員が一堂に集まり当面する生涯スポーツの諸問題について研究し資質の向上と相互の情報交換を図り、地域スポーツの発展に寄与する趣旨のもと開催されました。

まず初めに大会テーマ「群雄であれ」について紹介させていただきます。スポーツを「する」「みる」ことを支えるスポーツ推進委員は群雄＝多くの実力者によって構成さて、各地域に於いて健康や体力の維持・増進に役立つだけでなく、人生をより充実させたり、人々に夢や感動を与えたり、地域社会を活性化させるなど、多様な力を発揮し活躍する集団を指す。

ここから時間軸で大会の様子や感じた事を述べさせていただきます。

受付後、恒例のアトラクションのない異例のスタートとなり、その後開会式・表彰式が行われ主催者挨拶後、開催県・開催市他の歓迎のあいさつ後、表彰式がおこなわれ85名の方が功労者表彰を受賞、神奈川県を受賞者は23名で横三ブロックから逗子市の佐藤千香さんが受賞されました、おめでとうございます。

次にテーマ「新たな時代における地域スポーツの普及に向けて」3名のパネリストとコーディネーターにてパネルディスカッションが行われ、それぞれのテーマに対するキーメッセージを以下に示します。

① スポーツ推進委員の人材不足 地域スポーツ振興を担う後継者の育成

横須賀市同様に群馬県でも少子高齢化・人口減等の影響により人材不足に対する課題が顕在化している中でまずは、自ら行動し身近な人に声掛けを実施し活動を理解頂き賛同して頂く事が近道

② 市町村行政との連携・協働(コラボレーション)

直近の課題である、教職員の働き方改革の1つである部活動の指導者を地域から募り、教員の負荷軽減を図る事を目的に前橋市でも協議会をスタートさ

せたとの事であったが、横須賀市の場合直近でその様な事がスタートしていないものの先取りで行政と連絡を密に取り対応を検討して行く必要性を感じた。

③ 今後の地域スポーツの環境のビジョン(ご自身の地域における理想は?)

横須賀市は横浜マリノス・横浜 DeNA ベイスターズのプロチーム練習場等の誘致に成功している為地域スポーツの環境は揃っているがまだ十分に活用出来ていないのではと思う半面、住民のスポーツに対する考え方等多様化する中で、みんなにささる種目や競技を見いだす事は困難かもしませんが、コロナ過以降、日頃外出する機会の少ない人達へ体を動かす機会やスポーツ観戦等のキッカケづくりを色々なコンテンツを活用しPRしていく事が重要かと考え、その一翼をスポーツ推進員が担えればと思います。

最後4年ぶりの開催となった関東スポーツ推進委員研究大会でありましたが、アトラクションや著名人による基調講演もなくシンプルな気がした半面、関東各都県スポーツ推進員が一堂に集まり、当面する生涯スポーツの諸問題について研究し資質の向上と相互の情報交換を図り、地域スポーツの発展に寄与するという趣旨からするとやや寂しさを感じ大会でありました。



大会2日目は、第2分科会である「富岡世界遺産ウォーキング」に参加。富岡製糸場とその周辺を散策し、富岡市の文化や街並みを味わいました。

「富岡製糸場と絹産業遺産群」は当時、長い間生産量が限られてた生糸の大量生産を実現し、一部の特権階級のものであった絹を世界中の人々に広め、その時代の生活や文化をさらに豊かなものに変えました。

2013年に国がユネスコに推薦書を提出し、翌年6月に文化遺産として、世界遺産に登録されました。

富岡製糸場は、創業当初の建物がほぼそのままの形で残されており、繭から生糸を作る「繰糸所」や繭を貯蔵しておく「西置繭所」など、当時の歴史を物語る技術革新が保存されていました。

記事 池田 正英 副会長(桜)

写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)

第13回横須賀市スポーツ推進委員協議会ソフトバレーボール大会

6月25日(日)第13回ソフトバレーボール大会、横須賀市総合体育館のメインアリーナで開催されました。今回は、混合12チーム、女子チーム10チーム参加し、ブロック毎に予選を行い、混成A,Bブロック、C,Dブロック、女子A,Bブロックの1位チーム同士で決勝戦を行いました。

なお、女子Cブロックは4チームの為、ブロック内で順位を決定しました。



順位は次のようになりました。

混合AB 優勝 田浦アミーゴA 準優勝 桜えび
 混合CD 優勝 Booneis 準優勝 神金選2
 女子AB 優勝 ハイランドクラブ
 準優勝 CheerfulB
 女子C 優勝 鷹取 準優勝 なぎさ



コロナの行動制限が解除されてから、初めての大会となりました。選手、観客の声援や笑顔が随所に見られ、コロナ前の状況に戻りつつあると感じました。運営としては1チーム棄権したことやレイアウトの変更等、直前に戸惑うことがありましたが、全体としては滞りなく運営できたのではと感じています。

記事・写真 事業部 副部長 根岸 亨(北下浦)
 写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)

新任研修会・新体力テスト測定講習

7月1日(土)に諏訪小学校にて令和5年度横須賀市スポーツ推進委員新任研修会が開催されました。参加者は、各学区の新任17名、会長・常任理事・理事4名、スポーツ振興課2名です。



前半は事務局の高橋課長による「非常勤職員としてのスポーツ推進委員」の説明と「横須賀市スポーツ推進計画」の紹介、そのあと林会長による「スポーツ推進委員と役割について」の講義がありました。

要点は、スポーツ推進委員とは、スポーツ基本法に基づいた市の非常勤職員であり、スポーツを通して謳われている「スポーツ元気アップ横須賀」の実現のために各々の地域で、また地域の垣根を越えて、協議会活動を通じてスポーツと市民を「つなぐ」役割を担っている、という点でした。



後半に行われた新体力テスト測定員講習会は、新任研修会メンバーも加わり25名で実施されました、参加者のほとんどが未経験者でした。講習会の講師は教育委員会事務局保健体育課 福地指導主事で、「握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げ」の8種目について内容の紹介、正確に測定するための注意点、器具を使つての实地説明と記録の取り方などでした。講習会を終えて、参加者は正確な測定方法や注意点について身をもって体感し、測定前の準備運動、種目によっては被測定者だけでなく補助者の重要性などを知り、新体力テスト測定員として多くを学ぶ事ができました。

記事 鶴窪 隆(富士見)
 写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)

第1回 秋山翔吾カップ (ソフトボール) 7月23日 (日) 不入斗公園球場



令和5年度児童球技大会 (ミニバスケットボール) 7月23日 (日) 横須賀アリーナ



写真 事業部 副部長 根岸 亨 (北下浦)
広報部 部長 新堀 邦明 (富士見)

編集後記

暑い!暑い!暑い!!ですねー。異常な気象状態、コロナ感染も身近に感じる今日この頃です。児童のミニバス・ソフトボールも皆さんの協力で無事に終える事が出来ました。子ども達も頑張っていました。これからも節度ある行動を取りながら、スポーツを楽しんで行きましょう!! 副会長 鈴木 幸子 (汐入)
ホームページ <http://sukataishi.jp>